

秋深まる11月11日(土)、堺市において、関西慶應寮和会第12回定例懇談会が、初参加の横山直臣さん、井汲清嗣さんを始めとして21名の出席者のもと開催されました。

<参加者> 敬称略 (21名: 部分参加も含む)

増田 登 (S40商)	相本 琢郎 (S41法)	竹内 徹夫 (S41経)
酒井 克己 (S42法)	横山 直臣 (S42商)	井汲 清嗣 (S45文)
宮 純一 (S46商)	中矢 隆雄 (S47政)	松尾 哲雄 (S47経)
山内 正明 (S48商)	三角 竜二 (S49工)	青嶋 義晴 (S52工)
藤岡 義久 (S52政)	西村 元秀 (S53商)	袖岡 稔 (S55商)
山代 和也 (S55法)	阪本 光宏 (S61商)	井内 達彦 (H04商)
浄住 徹朗 (H05経)	兵藤 公治 (H10理)	宮崎 博 (H16経)



バーチャル
リアリティー映像

I 歴史と文化の街『堺』を知る

今回は2019年の世界文化遺産登録をめざす国内候補として選ばれた百舌鳥(もず)・古市古墳群と堺市出身文化人ゆかりの地の散策を行いました。



仁徳天皇陵のバーチャル映像(左)と、古市古墳群のバーチャル映像(右)

仁徳天皇陵拝所と天皇陵全景

【第1部】百舌鳥駅周辺散策 <13:10~14:30>

百舌鳥駅から徒歩で最初に訪れたのが仁徳天皇陵。大仙公園にある拝所からは全景は見渡せないものの、整然とした厳かな雰囲気を感じることが出来ました。

次に、近くにある堺市立博物館に立ち寄りしました。そこでは、仁徳天皇陵の高所からのバーチャルリアリティー映像を楽しむ事が出来、その規模の大きさ、形の美しさを感じることが出来ました。

確か小学生の頃、社会科で習った前方後円墳をバーチャルとは言え見ることが出来、皆さん興味津々のようでした。

【第2部】宿院駅周辺散策 <14:40~16:10>

その後、バスで宿院駅まで移動し「さかい利晶の杜」を見学しました。そこは茶の湯の大成者千利休と日本文学を切り開いた与謝野晶子の記念館で、多くの方が茶の湯の体験を楽しみました。近くには千利休の屋敷跡地があり、記念撮影を行いました。(写真1)



写真1. 千利休屋敷跡で記念撮影

【第3部】総会 <16:20~16:50>

「さかい利品の社」から徒歩で開口神社瑞祥閣に移動し、平成29年度総会を開催しました。総会では冒頭、由良前会長へ黙祷を捧げ、その後青嶋義晴幹事局長の司会で総会が開催されました。

<決議事項>

・第Ⅲ期会計報告

上記期間における収支計算書により会計報告があり、全会一致で承認されました。

・第Ⅳ期役員改選

第Ⅲ期役員の任期が平成29年12月31日に満了するのにもない第Ⅳ期役員候補者の提案があり、異議なく、承認可決されました。

選出された役員4名は、以下のとおりです。

- 会 長 松尾 哲 雄 (昭和47年経卒) <再任>
- 会長補佐 三角 竜 二 (昭和49年工卒) <再任>
- 会 計 阪本 光 宏 (昭和61年商卒) <再任>
- 会計監査 西村 元 秀 (昭和53年商卒) <再任>

【第4部】懇親会 <18:00~20:00>

総会終了後、レトロなチンチン電車：
阪堺電車で恵美須町駅に向かい、新世界：
通天閣近くの「串カツ炉端焼き いるり」で
お楽しみの懇親会を開宴しました。

(写真2)



阪堺電車

今回新たに参加して頂いた横山さんと井汲さんの周りにも、近況・昔話の花が咲き、会の後半で挨拶を頂きました。その後、増田さんからも挨拶がありました。宴の締めとして、西村さんのエールで若き血を全員で熱唱（写真3）、全員で記念写真を撮影し（写真4）名残惜しくお開きとしました。

(取材：宮崎 博)



写真2. 懇親会で話題の花が。。。



写真3. 西村さんのエールで若き血を熱唱



写真4. 宴の終わりに

II 北海道寮和会に参加して

松尾哲雄（S47卒）

帯広在住の小田豊さん（S44年卒）主催、山本盛男さん（S45年卒）幹事で去る9月8日、9日の両日、北海道寮和会が開催され、S41年から47年卒のOB有志36名が全国各地から参集し大いに盛り上がりました。初秋の道東帯広は爽やかで天候にも恵まれ、ガーデン・美術村の散策、鑑賞その他盛りだくさんの行事があり、宴会ではこれぞ地産地消と言える料理お酒も堪能しつつ旧交を温めることが出来ました。

小田、山本両先輩のお骨折り、エンターテイメント精神には本当に頭が下がる思いですし、裏方でお手伝い頂いた六花亭社員の皆様には感謝のしようありません。

9月8日は前夜祭と称し、六花亭サロンK y uに集合、塾歌斉唱で始まり若き血、三色旗の歌で盛り上がり、コーラス、落語など催し物付きの大パーティーで地元の料理をこれでもかというほど味わいました。初対面或は卒業以来お会いしていないOBの方が多々おられたものの、即往時に戻り昵懇の間柄になってしまうのは、寮生活のえも言われぬところでしょうか。（写真5）

9月9日は六花亭帯広本店に集合、名バスガイド小田さんによる趣向を凝らした日帰りバスツアーの感じでした。まずは、六花亭お菓子工場見学からスタート、次いで北海道ガーデン街道の一つでもある「六花の森」の散策。ガーデン内の作品館などを見学、ジンギスカン鍋で舌鼓をうったあと、「中札内美術村」を散策、当地ゆかりの画家の作品群を展示した美術館を幾つも見学し、その後、村内の窯元で少々早いですが骨壺の絵付け体験（中には人生悔いなしと書いた人も）、最後は六花荘で、再び地元の料理を堪能する鳴り物（六花亭社内ブラスバンド部）入りの大宴会と相成りました。特に、当時寮内にあったハワイアンバンド：サモアアイランダーズのOBメンバーが調子外れの懐メロ歌声を披露した時にはやんやの喝采で思わず半世紀前の気分に戻されてしまいました。（写真6）



写真5. 小田さん（中央）の前夜祭開宴挨拶



写真6. 六花荘でのお別れ宴会
バンドも入って盛り上がり

最後はお決まりの「若き血」で締め、気分よく引き上げると、又出口でプラスバンド部による「若き血」の見送りを受け再度感激しました。

(写真7)

帯広だけでは勿体ないと思われた方は、各々道内旅行に出かけたり、下名は関西慶應寮和会常連メンバーの酒井さん、仲野さん、中矢さん他と遠征ゴルフをプレーし、夢のような北海道旅行を楽しみました。

(写真8)

北海道寮和会は、小田さん、山本さんの個人的な繋がりをベースにした素晴らしい交流が続いており、又関西では、関西慶應寮和会の定例懇談会が足掛け6年、計12回となり盛り上がりを見せています。地域での寮和会活動を活発にしたいという思いは、北海道で、関西で着実に根付いているなど感じる事が出来た三泊四日の旅でした。

Ⅲ 編集後記

今回は記者は仕事の都合でどうしても出席できず、定例懇談会の取材は、宮崎さんに全面的にお願いしました。歴史的にも見どころが多い堺の街を自分の足で歩き、得るところも多かったと思います。

残念ながら今回は行けませんでした。近々行ってみたいと思います。

また改めて実感したことですが、出席して頂いている方は都合の悪い時でも、何とか都合を調整して出席して頂いているのだなと感じました。有難うございます。

松尾さんからは、「北海道寮和会の集いに参加して」との内容で寄稿をして頂きました。北海道寮和会でも素晴らしい交流が続いているとこのことで大変うれしく感じます。北海道と関西では距離は離れていますが、このような個人ベースでの参加、あるいは広報活動を通じて交流を図れたらなと思いました。

今年も会員の皆様にはいろいろとお世話になりました。来年も楽しい企画をしていきますので、誘いあってご参加をよろしくお願いします。

以上



写真7. 北海道寮和会の締め、さあ「若き血」を歌うぞ



写真8. 帯広国際カントリーでラウンド
左から、松尾さん、酒井さん、中矢さん